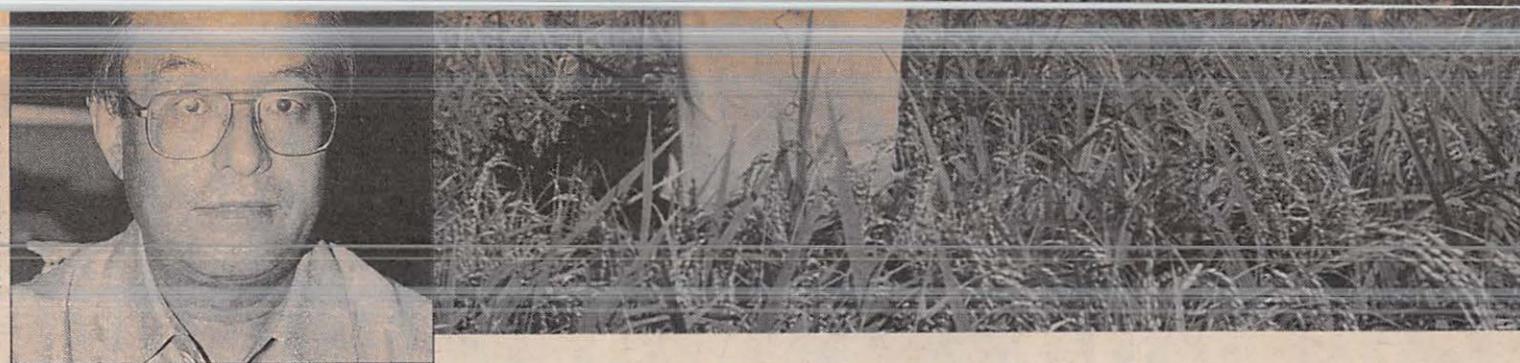


日本棋院九段(囲碁)
小林 覚 棋士

ふるさとは、
遠きにありて。。。
松本出身の各氏からメッセージをいただきました。

筑波大学2年
江崎 史子さん東京外国语大学
中嶋 嶺雄 教授

松本市内の中町に育った私の農村での思い出といえば、稻刈りが終わるころに母や親戚の人たちと新村あたりの田んぼへイナゴ捕りに行つたことで、おなじく、夢中になつて捕まえたイナゴを、帰ってきてなべに入れる時とかわいそうだと思いましたが、あの新鮮な佃煮の香りは、私の「ふるさとの味」でもあります。

私は現在でも夏休みや週末の執筆活動のため、時間をみつけては松本に帰るようにしています。

神田の私の「望岳山荘」からのアルプスも、塩尻インターで下りて、東山山麓線から見る松本の眺めも、私は大好きです。郷土の雄大な自然が、精神をリフレッシュしてくれるからです。

今、米の輸入自由化問題が議論されていますが、私はこの重要な問題が、あまりにも無機質で、日本の伝統と自然との自覚を持ちながらも、日本農業は国

の基となる産業ですか、う、国際社会の一員としての自覚を持ちながらも、日本農業は統一してほしいと思っています。

仕事がら、海外に出かけることが多い私は、國土があまりにも企業的論理で刻まれてしまった

感じを受けます。

ふるさと松本は、いつもどこか美しい街であつてほしいと願います。それが松本最大の財産なのです

までも昔ながらの自然が残る美しい街であつてほしいと願います。それが

松本が大好きなのは、本だと思っています。やはり、松本が大好きなのは、

どうか自分たちの農業に信念をもつて、諦めずに

頑張ってください。これ

をして転機は必ず訪れる」とを忘れずにいてほ

ります。

そして転機は必ず訪

れることがあります。

今、自由化問題で、農業は大変だと聞きます。

松本で農業に携わる方々はどうなのでしょうか。

どうか自分たちの農業に信念をもつて、諦めずに

頑張ってください。これ

をして転機は必ず訪

れることがあります。

そして転機は必ず訪

れることがあります。